

学科名	電気通信工学科						
科目名	日本語表現法応用Ⅱ						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	後期		
必修・選択の別	必修						
担当者	柿崎隆宏						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の特性を正しく理解し、使うことができる。(A4) ・日本語の文法を理解し、正しく使用できる。(A4) ・論理的な表現とは何かを理解し、記述・発表できる。(A4) ・上記のような項目を学習し、日本語表現の応用力を修得する。(A4) 						
日程と内容	<p>第1回：講義概要および履修心得・学習方法</p> <p>第2回：書き言葉の技能 応用 要旨</p> <p>第3回：書き言葉の技能 応用 要約 その1</p> <p>第4回：書き言葉の技能 応用 要約 その2</p> <p>第5回：書き言葉の技能 発展 レポートの書き方 その1</p> <p>第6回：書き言葉の技能 発展 レポートの書き方 その2</p> <p>第7回：書き言葉の技能 発展 論証 その1</p> <p>第8回：書き言葉の技能 発展 論証 その2</p> <p>第9回：話し言葉の技能 基礎 敬語 1</p> <p>第10回：話し言葉の技能 基礎 敬語 2</p> <p>第11回：話し言葉の技能 基礎 敬語 3</p> <p>第12回：話し言葉の技能 応用 相手を考えて話す</p> <p>第13回：総合応用 1</p> <p>第14回：総合応用 2</p> <p>第15回：まとめ</p>						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題	50%	計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	講義内での学生の反応、及び定期試験の結果から講義の目標は大筋で達成できたと考えている。						
反省点	文章を読み、要約する。文章の要旨を掴む。小論文・作文を執筆する。正しい敬語を身につける。手紙文の書き方を学ぶなど、一年次、および二年次前期までの学習を活かし、より実践的な技能の習得を目指した。全体的には目標を達成できたと考えているが、敬語の習得に関しては個人差が見られた。より効果的な学習結果が得られるよう、この点を次年度以降の課題としたい。						
来年度の計画	基本的には今年度の内容に準拠する。						
授業評価アンケートに対するコメント	担当者個人の能力以上に、学生諸君が将来のキャリアの実現に向けて、真摯に課題に取り組んだ結果ではないかと考える。						
履修登録者数	66名	定期試験 受験者数	64名	合格者数	62名	合格率	97%